

高等学校

「自分らしさ」と「その人らしさ」

○目標となる資質・能力

自治集団づくりに資する力、思いやり・他者理解、自尊感情・自己効力感

○指導のねらい

お互いの個性を尊重し、リーダーとフォロワーがそれぞれの役割を担える集団の在り方を考える

○準備するもの

ワークシート×生徒数

○教育課程、実施時期

特別活動、ボランティア活動や文化的行事に向けた事前指導

○留意点など

事前に「自分の得意なこと」をグループに発表させる授業や、合意形成（コンセンサス）に関する授業を行っておくとよい

展開例

	学習活動	指導上の留意点
導入 5分	1 本時学習を知り、学習の見通しを持つ	・活動の際の「自分らしさ」「その人らしさ」を考えることを伝える
	「自分らしさ」と友だちの「その人らしさ」を探そう	
展開 35分	2 地域活動の一つとして「放課後子供教室」にボランティアとして参加した場合、自分はどのような活動をしてみたいかを考える。	・「放課後子供教室」のイメージを抱きやすいようにいくつか活動例を紹介する
	3 グループで活動内容を1つ決め、その活動に必要な役割と担当者を話し合う。	・コンセンサス（合意形成）を意識させる ・「その人らしさ」に着目し、それを生かせる分担について考えるように伝える。
	4 全体で発表し、意見や感想を交換する	・どの役割も大切であることを伝える。
	5 「自分らしさ」を生かせる地域活動について考える。	・自分にできる地域活動を考え、ワークシートに書かせる。
まとめ 10分	6 本時の学習を振り返り、感想を書く	・「自分らしさ」「その人らしさ」を生かした役割の在り方を考えるように伝える。

参考

○「放課後子供教室」について

小学生の子供を地域が支える活動を意味するものであり、近年広がりつつあるが、架空の活動と位置づけて進めても問題はない。イメージが湧きにくいようなら、下記の例を紹介してもよい。なお、この活動は「もし行おうとしたら…」という架空の設定で授業を進めるが、実際に実施が可能な場合は、その活動の準備と位置づけてもよい。

(活動例)

○○教室(スポーツ、昔の遊び等)、○○大会(もちつき、仲間づくりのゲーム等)、学習指導、地域の紹介、一緒に遊ぶ(粘土細工、ボール遊び)、共同作品づくりなど

○「グループ内で活動を1つ決める」について

放課後、5～6名のグループで地域の小学校に出向くと仮定し、子供たちのために何ができるのかを考えさせる。対象人数や時間は統一する必要はないが、1クラス(30名ほど)を対象として、1時間ほどの活動を基本とするとよい。小学生の子どもたちが楽しく過ごせたり、成長の支援となったりするような活動とし、子供たちの危機管理も意識させるようにする。

○「その活動に必要な役割と担当者を話し合う」について

本プランの目的となる部分である。決定した活動を実施するに当たり、準備や当日の進行などを具体的に考えさせ、必要な役割をリストアップする。役割を分担するにあたり、単に量的な平等だけでなく、一人ひとりの個性や特徴などを踏まえ、適材適所に割り当てていくように指示する。事前にメンバーの得意なこと、苦手なことなどを書かせておいたり、発表し合う活動を行っていたりすると円滑に進むと思われる。成功させることが第一目的であり、そのためにメンバー全員のその人らしさをどう生かせるかに主眼を置いて話し合わせる。話し合いは多数決ではなく合意形成(コンセンサス)を行うように指示し、安易に決めていたり、押しつけになっていたりするようなら教師が個別に指導する。

○「『自分らしさ』を生かせる地域活動について考える」について

自分の得意なことや、特性を、どんな地域活動(ボランティア)に生かせるかを考えワークシートに記入させる。書きにくい生徒には「こんなことだったらやれるかも、地域の役にたてるかも」という視点で書くように指示する。

○「本時の学習を振り返り、感想を書く」について

本プランの目的である「個性を生かした集団づくり」を意識させるようにまとめる。まとめ方を工夫すればキャリア教育に繋げていくことも可能と考えられる。

資料

参考文献 東京都教育委員会「いじめ防止教育プログラム」

「自分らしさ」と「その人らしさ」

年 組 番 名前：

1 「放課後子供教室」でどんな活動ができるか考えよう

2 グループで決めた活動内容について、役割と担当を決めよう

活動内容：	
役 割	担 当 者

3 「自分らしさ」を生かしてできる地域活動を考えよう

4 感想を書きましょう